

「サーキュラーエコノミーが創造するビジネスの可能性」 第 18 回川崎国際環境技術展を開催しました！

環境分野に関する優れた技術や先進的な取組を広く川崎から情報発信し、販路拡大につながるビジネスマッチングや研究開発を促進することを目的に、第 18 回川崎国際環境技術展を 11 月 12 日、13 日に開催しました。

今回の技術展は、120 の企業・団体に出展いただいたほか、「サーキュラーエコノミー」に関連する基調講演や特別講演・特別セッション、学生と企業が共創する特別企画などを実施しました。2 日間で計約 4,400 人の方々に御来場いただきました、ビジネス機会の獲得や新たな人脈形成につながる交流の場として活気のあふれた展示会となりました。

今回、打ち出した様々なコンテンツを、今後の川崎国際環境技術展につなげ、さらなるビジネス機会の創出を図ります。

【開催概要】

1 開催日程

令和 7 (2025) 年 11 月 12 日 (水)・13 日 (木)

2 会場

カルツツカワサキ (川崎区富士見 1-1-4)

3 出展者数

120 団体 (162 小間)

〔 初出展 34 団体
市内中小企業 53 団体 〕

4 来場者数



項目	人数
第 18 回川崎国際環境技術展 来場者数	約 4,400 人
11 月 12 日 (水)	約 2,300 人
11 月 13 日 (木)	約 2,100 人

(参考) 第 17 回開催実績 約 5,050 人

■国際関係（来場国等）

国際関連として、タイ・マレーシアなど政府関係者や諸外国の在日大使館関係者等、38 か国、60 名を招致し、講演・ツアー等を実施しました。

川崎国際環境技術展 会期中の様子

オープニングセレモニー

川崎国際環境技術展のオープニングに際して、実行委員長や来賓による挨拶、テープカットを行いました。また、川崎市消防音楽隊の演奏も行われ、セレモニーが鮮やかに彩されました。



福田紀彦 実行委員長による挨拶



テープカットの様子

出展者ブース

市内外から 120 の企業・団体が出展し、技術・サービス・アイデア等のPRが行われました。出展者からは、「来場者だけでなく、出展者同士のつながりも生まれ、出展してよかったです。」といった喜びの声もありました。



賑わうブースの様子



活気あふれる展示会場の様子



屋外展示(水素自動車)

ビジネスマッチング関連

直接、出展者と面談ができる 10 の「マッチングブース」や、出展者が来場者にプレゼンテーションを行う「出展者ピッチ（発表者：16 社・団体）、出展者等が一同に会する「ビジネス交流会」（参加者数：約 170 名）など、多様な形でのビジネスマッチング創出に向けた場を設定し、大変好評でした。



マッチングブース



出展者ピッチ



ビジネス交流会

「基調講演／特別講演／特別セッション」

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）会長の澤田氏による基調講演や、ちとせグループ Founder&CEO の藤田氏による特別講演、4社の市内企業による共創事例を紹介する特別セッションを実施しました。最前線で活躍する登壇者の発言に真剣に耳を傾ける聴講者の姿が印象的でした。



特別展示

未利用資材や再生材による什器等を使用し、「サーキュラーエコノミー」に関連した7社の製品・サービスによる展示エリアを設けました。入口周辺が来場者で賑わい、来場者が触れながら、熱心に出展者の説明を受けていました。



特別企画「CYCLE」

慶應義塾大学などの13名の大学生等によるサーキュラーエコノミーに関する共創アイデアを活用した、5社のホスト企業と地域企業を中心としたビジネスマッチング企画を実施し、実りのあるイベントとなりました。



市立高校との連携

市立高校2校、104名の生徒などが参加した、環境出前授業講座と、特別企画「CYCLE」内の市立高校1校、8名の生徒の発表による市立高校との連携企画を実施しました。



問合せ先

川崎市経済労働局イノベーション推進部 児島
電話：044-200-3213